

事例項目	1歳6か月児健康診査における身長の高測定及び日付誤りについて
事例発生日等	平成30(2018)年6月8日(金)
担当課	保健福祉部健康増進課
事例概要	<p>発生までの経過</p> <p>①平成30(2018)年6月8日(金)実施の1歳6か月児健康診査において、身体計測を実施した際、受診児の個別相談にて、身長伸びが緩やかなことを心配した保護者の訴えから再計測したところ、身長計測担当者が実際の計測値より3.1cm小さい位置で目盛りを読んでいたことが判明。当日、全受診児70人のうち、67人を誤測定していた。</p> <p>②健康診査終了後、身長の高測定値に間違いがあったことを保護者に電話連絡している際に、母子健康手帳に押印されている日付が1日前の6月7日になっていることも判明した。</p>
	<p>当時の対応</p> <p>①当日、健康診査終了後から6月12日(火)で全受診児の保護者に対し電話をし、経緯を説明、謝罪とともに正しい日付と計測結果を記した記録を届けること及び再測定を提案。</p> <p>②6月14日(木)及び15日(金)に訪問し、お詫び文及び正しい測定結果を記した記録用紙を届けた。</p> <p>③再測定を希望された保護者には都合を伺い、再測定を実施するとともに、お詫び文を渡した。</p> <p>【資料No.(2)-84-1】</p>
発生原因	<p>①身長の高測定については、身長計の入れ替えがあり、身長計測担当者が新しくなった身長計の使用に不慣れだったため、目盛りを読む位置を勘違いし、正しい目盛りと異なる目盛りで測定値を読んでしまったことによるもので、身長計測担当者に使用方法の説明を行う、または使用方法がわかるよう表示する等の配慮が欠けていた。</p> <p>②日付誤りについては、受付担当者が日付印の日付を前日の健康診査から変更していなかったこと、健康診査当日、健康診査の主たる担当者もそれに気づけなかったことといった健康診査前の準備や確認が不足していた。</p>
再発防止対策	<p>①健康診査に必要な物品準備について、健康診査の主たる担当者がダブルチェックするよう徹底する。</p> <p>②新しい器具の使用法については、説明書きを掲示した上で、正しく使用されているかを健康診査の主たる担当者が確認する。</p> <p>③身長計の目盛り読み取り部分に読み間違いがないよう目印を設けた。</p> <p>④健康診査事業のスタッフの配置を調整するグループ長が、適正な人員配置を確認し、混雑等によるケアレスミスを防止し、円滑に遂行できるよう体制づくりを徹底する。</p> <p>⑤ヒューマンエラーを予防するため、一人ひとりの“気づき”を重視し、常に緊張感をもって業務に臨み、気づいた疑問に適切に対処することを心がける。</p>
その他	
添付資料	【資料No.(2)-84-1】1歳6か月児健康診査時の日付と身長の高測定について(お詫び)